

神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第100号(通算)

令和5年4月27日(木)発行

明日は、一日遠足のため、一日繰り上げて発行します。2年前から川辺高校の”いま”を皆さんに伝えようという思いで始めた校長通信も、ついに大台の100号の発行となりました。創刊号から皆さんの学校での表情をお知らせしたいという思い。校長としての思い。ある時は、校長の趣味のお話しとなりましたが、今後も発行していきたいと思えます。これからもよろしくお願ひします。



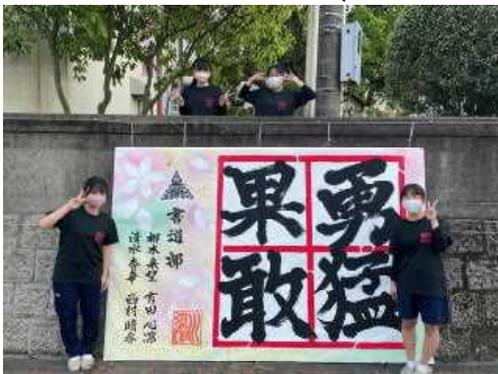
川辺高校ギャラリー



正門の桜(ソメイヨシノ)も立派な芸術作品



書道部の皆さんの作品1(玄関ロビー)



書道部の皆さんの作品2(正門横)

川辺高校のギャラリーは定期的に作品が変更され、展示されています。皆さんも作品を掲示できるように制作しましょう。

今年度の芸術は、音楽を福田正樹先生、美術を久保満義先生、書道を堂蘭まゆみ先生が担当されます。4月14日の一年生最初の授業は、音楽・美術・書道のどれを選択するかを決定することから始まりました。



授業や部活動で制作した作品が校内外のギャラリーに展示されたり、演奏などパフォーマンスが披露されるといいですね。

川辺仏壇協会

「御所車展示場シャッター描画」お披露目

令和5年4月21日(金)



原画は、美術部の皆さんの作品です。

川辺高校の歴史

今週24日の全校朝礼の校長講話で触れたとおり4月26日は川辺高校の創立記念日でした。今年で創立123年となります。川辺高校の名称は、時代により以下のように移り変わっています。

一つ目の源流(男子校)

☆明治33年4月26日(ここが起点)
鹿児島第四中学校(旧制中学校)が開校
☆明治34年9月2日
鹿児島県立川辺中学校(旧制中学校)と改称
(旧制中学校は昭和23年3月31日まで続きます。)

二つ目の源流(女子校)

☆大正4年4月23日(遅れて女子校が始まる)
鹿児島県川辺村立実科高等女学校が開校
☆昭和5年9月19日
鹿児島県川辺実科高等女学校と改称
☆昭和18年3月31日
鹿児島県川辺町立川辺高等女学校と改称
☆昭和20年3月6日
鹿児島県立川辺高等女学校と改称

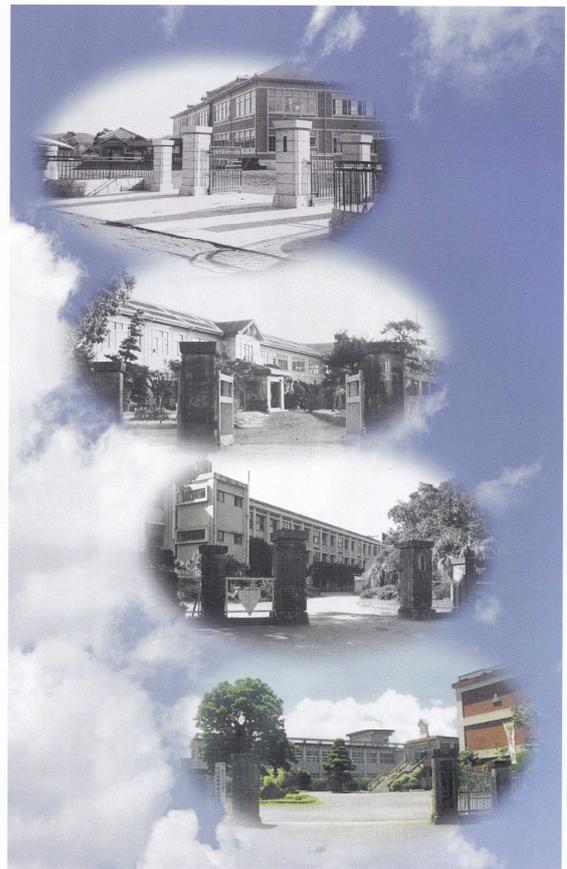
2つの源流がそのままの形態で合流

☆昭和23年4月1日 学制改革により
鹿児島県立川辺高等学校第一部(旧制中学校)
および第二部(旧制高等女学校)を設立

2つの源流が一つに合流(男女共学)

☆昭和24年4月1日(現在のスタイル)
第一部・第二部を合併して
鹿児島県立川辺高等学校と改称
そして現在に至る。

このように、川辺高校は、南薩地方の中心校として男子校の形で始まった旧制の川辺中学校と女子校として始まった川辺高等女学校という2つの源流を持っています。第二次世界大戦後の学制改革で昭和23年に校名は鹿児島県立川辺高等学校となりましたが、中身は二部制の男女別々の学校でした。しかし、昭和24年から現在のような男女共学の新しい高校へと変遷を遂げました。



校舎の変遷 時代の流れは変わっても同じ志があった



正門の桜(ソメイヨシノ)



ロータリーの蒿苳(ちしゃ)の木